



江戸川区長
馬田正晃

いま、地球環境は深刻な危機に直面しています。世界各地で頻発する集中豪雨や干ばつなどの異常気象も、地球温暖化の影響によることは否めません。IPCC の報告で、この温暖化の原因は人類の活動であることが明確にされました。いまを生きる私たちは、将来の世代に恵み豊かな環境を引き継ぐために、英知を結集して行動し、この危機を克服していかなければなりません。京都議定書の約束期間のスタート、次の枠組みのあり方など、そのための取り組みが広がりつつあります。

江戸川区は、環境をよくする運動を中心に、長年にわたってさまざまな環境問題に挑戦してまいりました。「ゆたかな心 地にみどり」を合言葉にした緑化運動、生活環境を脅かす3大公害との戦い、違法駐車や迷惑駐輪など都市問題への対策など、これらの活動は多くの成果をあげています。そして、平成16年には、NPO法人えどがわエコセンターを設立し、地球規模の今日的な環境問題に取り組んでまいりました。その表れとして、省エネ・省資源やごみ減量など、区民誰もが自発的に参加する「もったいない運動」も徐々に浸透しつつあります。また、地域版ISO「エコカンパニーえどがわ」にも、多くの事業所が登録をいただいております。

こうした活動を基盤として、このたび、地域をあげて地球温暖化対策を進めるため、「エコタウンえどがわ推進計画（地域エネルギービジョン）」を策定いたしました。この計画は、地域として目指すべき温室効果ガスの削減目標を掲げ、この達成に向けて、区民、事業者、区が一体となって具体的な取り組みを進めていくためのものです。

江戸川区は、江戸川、荒川の2大河川をはじめ、東京23区で唯一自然の海を擁し、数多くの公園を有する豊かな水と緑が調和した都市です。その反面、海拔ゼロメートル地帯に位置し、温暖化による海面上昇の影響を真っ先に受ける地域でもあります。したがって、地球温暖化問題を自らの問題として捉え、先進的な対策を進めていかなければなりません。エコタウンは、地域をあげて限りある資源を大切に、区民一人ひとりが環境に配慮して暮らすことで実現してまいります。また、このことは真に豊かな生活環境づくりとともに、子どもたちの健全な成長につながるものです。

この計画を柱として、地球温暖化対策の先進的な取り組みを江戸川区から発信し、日本一のエコタウンを目指してまいりたいと存じます。区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成20年2月